

平成28年度 柏崎市交通安全対策会議 議事録

日 時 平成28年5月18日 午前10時00分から11時20分
会 場 柏崎市役所 4階大会議室
出席委員 竹原委員（欠席）、丸山委員、前田委員（代理米山氏）、本間委員、佐藤委員、池田委員、駒野委員、遠山委員、若山委員、清水委員、小池委員、鳥越委員、蓮池委員（欠席）、林委員、今井委員、宮嶋委員、永寶委員、中村委員、新保委員（欠席）（順不同）
事務局 小菅市民活動支援課長、市民活動支援課生活安全係員

1 開会

2 会長あいさつ

3 委員紹介

4 議事

（1）平成27年交通事故概況（報告）について

A 委員 7ページの年齢別死傷者数の区分で、高齢者を65才以上とまとめているが、65才以上と言っても幅がある。このデータを今後の対応に生かすためにも、もう少し細かく表示してほしい。

B 委員 65才以上を高齢者と定義付けしており、このように表示してあるのだと思うが、5才きざみで80才までのデータがあるので、必要であれば提供できる。

（2）平成27年度柏崎市交通安全実施状況報告（報告）について

—承認—

（3）平成28年度柏崎市交通安全実施計画（案）について

C 委員 11ページ(5)広報活動の充実についての記載を、「各季の交通安全運動に合わせながら～運動実施要領の周知、交通安全だより、チラシ等の配布を積極的に進める。」と表現を修正したほうがよいのではないかと。

事務局 ご指摘のとおり修正したい。

D 委員 広報活動について、色々な方に呼びかけるのに防災無線はとても効果的であると思う。

事務局 従来、防災無線で啓発周知も行っていたが、庁内で検討した結果、一般的な啓発については取りやめた経緯がある。

会長 防災行政無線であるので、基本的に災害時や緊急時に人命に関わる事柄について、無線を使って市民の皆さんにお知らせをしている。広く色々なことの啓発・広報に使うといったものではないので、どこまでやるのかといった線引きの問題が常にある。交通事故防止の啓発も大切な事ではあるが、どういうタイミングでどの程度行うかということは考えなければならない。防災行政無線の使い方については色々なご意見があり、「頻繁に放送があつてうるさい」という方もいるので、基準を決めて運用している。

E 委員 12ページに高齢者講習の充実強化とあるが、全国的にも高齢者の交通事故防止が

課題となっている中、講習受講を強制できるわけではないと思うが、どのように充実強化を行うのかお聞かせいただきたい。

B 委員 警察、市役所、安全協会が協同で寸劇を交えた出前講習をコミセンなどで実施している。他にも、コツコツ貯筋体操の会場や安全協会が各地区で開催した講習会で啓発を実施している。また、秋には高齢者交通安全フェアを開催している。

F 委員 ○○地区ではコミセンで実施する講習に高齢者が 100 人位集まる。小さいライトや反射傘など、配布物があると多くの人が集まるように感じる。

C 委員 10 ページに高齢者運転免許自主返納制度の周知とあるが、運転免許を返納するというのは勇気がいることだと思う。例えば免許を返納した方に対してバス券を提供するなど、少しでも報いるようなことを考えていただきたい。

事務局 昨年まで運転免許返納支援事業として、免許を返納した方の住民基本台帳カード発行手数料を免除していたが、マイナンバー制度が開始されたことにより終了した。それ以前には一時期、免許返納者に対する公共交通利用支援も実施していたが、交通安全対策として、運転免許を返納した方だけではなく、高齢者全体に対する公共交通支援が重要であると考えている。

会長 かつて運転免許返納者に対してバス券を交付していたが、バスに乗らない方やバスの来ない地区の方から公平性の面で不満があったこともあり、廃止となった。

(4) 第 10 次柏崎市交通安全計画の策定延期について

事務局 お配りした資料にあるように、国の第 9 次交通安全基本計画と柏崎市第 9 次交通安全計画は、計画期間を平成 23 年度から平成 27 年度の 5 か年としているが、第 9 次新潟県交通安全計画は計画期間が平成 23 年度から平成 28 年度の 6 か年となっている。本来であれば、第 10 次柏崎市交通安全計画（案）をこの場でお示しし、皆様にご審議いただくところであるが、交通安全対策基本法には、「市町村交通安全対策会議は、都道府県交通安全計画に基づき市町村交通安全計画を作成するよう努めるものとする。」とあり、県の第 10 次計画策定後まで第 10 次柏崎市交通安全計画の策定を延期したい。第 10 次柏崎市交通安全計画策定までの間は、平成 28 年度柏崎市交通安全実施計画に基づいて交通安全対策を展開することとしたい。

D 委員 この柏崎市交通安全実施計画をもって柏崎市交通安全計画の代わりとするということか。

事務局 市町村の交通安全計画策定は努力義務ではあるものの、法律に従い新潟県の計画に基づいて柏崎市の計画を策定するため、県の計画策定を待つて市の計画を策定し、その間の空白期間については当年度の交通安全実施計画で対応するという趣旨である。

G 委員 前回の第 9 次柏崎市交通安全計画は、県の第 9 次交通安全計画策定を受け、平成 23 年の 6 月に策定している。第 10 次柏崎市交通安全計画についても、県の次期計画を踏まえ、作成した案を最終的に本会議に諮りたいと考えている。

(5) その他

D 委員 子どもの自転車利用について、幼稚園、保育園を卒園したばかりの子どもが、交通ルールも分からないような状態で自転車に乗っている。トキちゃんクラブなど交

通安全教室の場で、保護者に対してヘルメット着用の重要性、高額賠償請求の可能性などを指導してほしい。

- H 委員 各保育園で年に1回総会が開かれ、保護者に集まってもらう機会がある。その場でトキちゃんクラブなどを活用しながら、子どもだけではなく保護者に対しても周知啓発を図っているが、今後もさらに充実させなければならないと考えている。
- 会長 小中高校生についても、非常に危ない自転車の乗り方をしているのを見かけるが、学校でも指導しているのか。
- I 委員 市内では1年生が歩行、3年生が自転車指導という小学校が多いと思う。
- H 委員 中学校では春先に学校で講習を受講しないと、自転車通学を許可しない。
- H 委員 自転車で通学する際、歩道を経路とすることがあるが、自転車も車両であるというところで警察署からも色々指導を受けている。安全のためにやむなく歩道を走行することもあり、中々徹底できず難しさを感じている。
- D 委員 最近自転車の交通ルールが大きく変わったので、そういったところにも予算をかけて周知してもらいたい。
- J 委員 長浜交差点は五差路になっているが警察署方面から走行して来ると、右折用の矢印信号がなく、ドン・キホーテ方面、国道8号線日吉町方面に曲がる車が混雑する場所があるので、改善するために右折用信号を設置していただきたい。
- B 委員 仮に矢印信号を設置したとすると、右折用矢印が点灯する時間が7秒、信号機の点灯を含めると10～11秒の時間が必要になるが、そのひずみがある他の場所に生じることになる。1箇所の交差点だけでなく、交通の流れ全体を考えながら対応しているのでご理解いただきたい。
- 会長 あの場所は交差点の構造自体にも問題があるように思われる。